

晩秋の候、いかがお過ごしでしょうか？

「子ども科学探検隊」もBコースが最後の訪問を行い、今年度の訪問が全て終了しました。ご協力のほど誠にありがとうございました。

今回は「子ども科学探検隊」のご報告と、青少年センターのイベントをご紹介します。



子ども科学探検隊

Bコースが11月9日(土)に神奈川県立生命の星・地球博物館を訪問しました。誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史とその神秘性が時間の流れを追って分かりやすく展示されていました。恐竜や隕石の実物標本は大迫力です。午前は博物館周辺の野外観察を、午後は展示室でクイズを行いました。



キノコ狩りに博物館周辺の山に入りました。結構急な坂道でしたが、楽しかった！



先生から「キノコを採る時は、柄の部分から丁寧にとりましょう。」と教わりました。傘の部分引っ張るとすぐ千切れてしまいます。



たくさんのキノコが採れました。秋の味覚の代表です。これは何というキノコでしょう？ 食べても平気？



食べられるキノコと毒キノコを職員の先生に教わりながら分けました。食べられるのをお土産に持って帰りました。



午後はクイズに答えながら、展示コーナーを見学しました。広くて見ごたえがありました。



大きなティラノサウルスレックスの骨格標本です。恐いくらいの迫力です。

感想（アンケートからの抜粋）

- ・自分が採ったキノコが毒キノコだったので、とてもおどろいた。（小学5年）
- ・地球が変化していることが分かった。大切にしなければいけないと思った。（小学6年）
- ・一度来たことがあったが、見ていないところが見られてよかった。（小学6年）

センターの教室 高校生天文講座

高校生を対象に、天文についての興味・関心を育てることを目的とした5月から2月まで計11回の講座です。天体望遠鏡の使い方から、パソコンを使った天体自動導入法や冷却CCDカメラの操作実習など、天文について基礎から最新の観測法までを学び、実習内容の発表会を行います。20名の高校生が受講しています。普段の講義は夕方から青少年センターで行いますが、11月24日（日）には東京都三鷹市の国立天文台の見学を行いました。ここは世界最先端の観測施設を擁する日本天文学のナショナルセンターです。



憧れの国立天文台です。敷地はとても広く森の中にある感じです。木々の紅葉がきれいで、秋の深まりが実感できました。



天体望遠鏡を使った実習です。スタッフの方から丁寧に説明していただきました。



太陽の黒点観測です。



展示室ではすばる望遠鏡の紹介や、最新の天文学に関する展示があり、とても1日では足りないくらい充実しています。



子午儀資料館です。重要文化財でもあるレプソルド子午儀は月や大惑星の赤経決定に使用され、日本の天文学史上大変貴重な望遠鏡です。



大赤道儀室（天文台歴史館）です。日本最大口径を誇る屈折望遠鏡があります。国の登録有形文化財に指定されており、現在は研究観測から引退していますが、いつでも現役復帰可能な状態だそうです。

センターの工作教室 七宝焼きでブローチを作ろう

11月23日（土）に小学生を対象に行いました。20名が参加しました。金属である銅版の下地に釉薬（ゆうやく）を乗せて800度の高温で焼きます。釉薬が化学反応を起こしエナメル様のきれいな色が生まれます。高校生科学ボランティアのお兄さん、お姉さんにお手伝いいただきました。



銅版でできた下地を選びます。エンゼルフィッシュや蝶々等、どれにする？



釉薬（ゆうやく）を乗せていきます。焼きあがると色が変わるので、意外と難しい。



高校生スタッフのお姉さんに聞きながら。釉薬も何種類もあって楽しい。



出来上がり色を想像しながら、一心不乱の作業です。



いよいよ800度の電気炉に入れます。ここは先生をお願いします。ドキドキします。



3分程で焼成できます。耐火器具の上に乗せて冷ませば出来上がり！ 素敵なお土産ができました。

感想（アンケートからの抜粋）

- ・きらきらして、きれいにできた。うれしかった。（小学3年）
- ・楽しかった。また、やりたいです。（小学4年）

センターの教室 自然観察会 野鳥観察



12月1日（日）に新横浜の日産スタジアム近くにある鶴見川流域一を訪れ、鶴見川沿いのウォーキングと冬鳥の観察を行いました。小学生と保護者の方37名が参加しました。雲ひとつない絶好の天気恵まれ、着込んでいると汗ばむくらいでした。オオタカやカワセミなど24種類もの野鳥に出会えました！ 午後には鶴見川流域センターの見学を行い、流域の治水や防災について学びました。

【以下ウィキペディアより抜粋（左の写真も）】

オオタカは1984年には全国で400羽しか生息が確認されず絶滅が危惧されたが、1993年「希少野生動植物」に指定され保護対象となってから、現在関東付近だけで5800羽が確認されるに至った。人を恐れなくなり街中にも進出している。



富士山や大山もくっきり。小机城址の森もあり、自然が残っている地域です。



「オオタカだ!」「えっ!どこどこ?」
見られた人は幸運でした。翼を広げると1mにもなります。空高く舞う姿は雄大ですね。



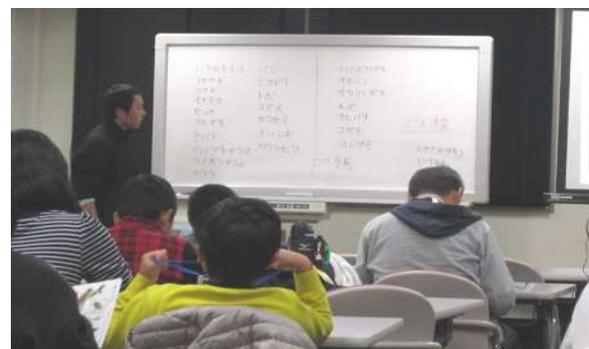
カワセミもいました。意外と街中の川にも生息しているそうです。



カルガモなどの水鳥も。春に生まれた子どもも親と同じ大きさに育っています。



オカヨシガモと、イソシギがいるのですが分かりますか？



鶴見川流域センターの先生から、観察できた野鳥について解説をいただきました。24種類もの野鳥が見られました。うち7種類が冬鳥でした。

確認できた野鳥は次のとおりです。

オオタカ・カワセミ・ハクセキレイ・アオサギ・コサギ・セッカ・カルガモ・ドバト・ハシブトカラス・ハシボソカラス・カワウ・バン・ヒヨドリ・トビ・スズメ・イソシギ・カワラヒワ・ハシビロガモ・オオバン・オカヨシガモ・モズ・タヒバリ・コガモ・ヨシガモ

感想（アンケートからの抜粋）

- ・イソシギを見つけた。川の中のカモが寒そうだった。（小学3年）
- ・新横浜のすぐ近くに、こんなに多くの野鳥がいるのにおどろきました。（小学5年）

事務局より

今回は、「子ども科学探検隊」の最終回（Ｂコース）をご報告いたしました。今年度、受入れをお願いした施設の皆さま、大変お世話になりました。子どもたちにとって本当に貴重な体験ができたと思います。ありがとうございました。

来年度の「子ども科学探検隊」と「中高生サイエンスキャリアプログラム」の計画をご相談させていただきたいと思います。今年度同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「子どもサイエンスフェスティバル」が始まります。

大和 12/14 相模原 1/18 藤沢 2/11 平塚 2/22

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

協議会ニュースを協議会員同士の情報交換の場としてよりご活用いただきたいと考えております。会員の皆様からの情報等をお寄せください。協議会ニュースを通して発信していきたいと思います。どうぞご活用ください。

ご意見・ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。

問い合わせ先

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局

(県立青少年センター科学部) 烏田、上原

TEL 045 - 263 - 4470

FAX 045 - 241 - 7088